

12. 沖縄（地域別調査機関：一般財団法人南西地域産業活性化センター）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (沖縄)	◎	百貨店（店舗企画）	・弊社内の新型コロナウイルス感染者は重症化していないことと、順調な回復ぶりから、3月頃には感染状況も落ち着き、集客も戻ると予測している。
	○	一般小売店〔酒〕（店長）	・新型コロナウイルスに対する免疫もできてくると考えられ、付き合い方も分かってくるのではないかと。
	○	コンビニ（経営者）	・新型コロナウイルス感染を避けるため、短時間で必需品や、くじ関連の商品を買っていく客が多く、客単価が上昇する。
	○	コンビニ（代表者）	・新型コロナウイルスの感染状況により上にも下にも振れるが、少なくとも現状よりは好転すると考える。
	○	衣料品専門店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大がピークに達し減少すれば今よりは良くなるとみている。
	○	その他専門店〔陶器〕（製造）	・まん延防止等重点措置さえ終われば、多少復活するのではないかと。
	○	その他飲食〔居酒屋〕（経営者）	・まん延防止等重点措置が解除になっても、周りの企業はしばらくは会食停止要請になるはずなので、すぐには入客数は増加しない。先に若者、観光客が少しずつ戻ってくるとみている。
	○	通信会社（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況次第だが、3月は学生の動きが多く繁忙期となるので、今よりは上向きになると予想するも、例年並みとはいかないとみている。
	○	住宅販売会社（役員）	・現在、まん延防止等重点措置により社会活動が抑えられている。解除される前提だが客の動きも活発になるとみている。
	□	スーパー（企画担当）	・まん延防止等重点措置が2月20日まで延長され、新型コロナウイルスの新規感染者数にもよるが、しばらくは現状が続くとみている。
	□	スーパー（販売企画）	・新型コロナウイルスの感染状況に大きな変化がなければ、景気は現状と余り変わらないと考える。
	□	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルスオミクロン株のまん延により、前年秋頃と同様に景気が悪くなっている。これは2～3か月で回復できないと考えている。
	□	コンビニ（副店長）	・先日、まん延防止等重点措置の延長が発表され、来月一杯期待できない。
	□	衣料品専門店（経営者）	・年明けは成人式などがあり安定したが、中旬から新型コロナウイルス感染が広がり始め、徐々に雲行きが怪しくなり始めている。また以前の状態に戻った雰囲気がある。景気はまだまだ様子見になるとみている。
	□	その他サービス〔レンタカー〕（営業）	・まん延防止等重点措置の適用後、予約のキャンセルが相次ぎ2019年と比べ半分まで落ち込んでいる。全国的に新型コロナウイルスオミクロン株の流行が本格的になっており近々での需要回復は望めない。
	□	住宅販売会社（代表取締役）	・建築資材の高騰やコロナ禍の影響による住宅設備商品の納品遅れの影響が懸念される。
	▲	旅行代理店（マネージャー）	・急発進からの急停止への繰り返しで、ため息しか出てこない。
×	商店街（代表者）	・ここ1か月くらいで新型コロナウイルスの第6波が来て、本当に街から歩行者も減り、商売は大変危機的状況である。早めの新型コロナウイルスの終息を祈るのみである。	
×	観光型ホテル（代表取締役）	・宿泊の先々の予約も増えない。修学旅行の3月以降の予約もキャンセルや問合せが増えており今後もキャンセルが増える。料飲部門の予約も同様な状況である。	
×	観光型ホテル（企画担当）	・1月の販売室数は前年比39%増加とプラスなのに対して、1月末時点での4月の予約室数は前年比28%減少とマイナスに転じている。	
×	観光名所（職員）	・まん延防止等重点措置が延長されそうなので沖縄県への来客数も減っている。	
企業 動向 関連 (沖縄)	◎	＊	＊
	○	食料品製造業（役員）	・新型コロナウイルスの終息がみえないなか、急激な経済の回復は期待できないが、沖縄復帰50周年や沖縄を題材にしたドラマの開始があり、沖縄食材の需要の増加に期待している。
	○	建設業（経営者）	・数か月前から商談を進めている客が具体的に動き出している。

	<input type="checkbox"/>	窯業土石業（取締役）	・売上は前年並みと予想するが、原材料の価格高騰による原価上昇分の価格転嫁に苦慮しており、収益面で厳しくなる見通しである。
	<input type="checkbox"/>	輸送業（代表者）	・宮古島、石垣島の建設関連は、官需部門においては石垣島の陸上自衛隊関連工事が本格化している。宮古島は公共工事が一段落しているが、民需でのホテル関係工事が出ている。海底火山噴火により発生した軽石の影響で、11～12月は操業停止に追い込まれたが1月は操業ができています。
	<input type="checkbox"/>	広告代理店（営業担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の影響で販促活動を自粛する傾向はあるものの、大きく減少するまでには至っておらず、当面の間は現状のまま推移するものとみている。
	▲	*	*
	×	—	—
雇用 関連	◎	—	—
(沖縄)	○	人材派遣会社（経営者）	・派遣スタッフが新型コロナウイルスに感染したり、濃厚接触者になり仕事ができない例が現在急増しているが、新型コロナウイルスオミクロン株の特性から沖縄においては間もなく落ち着くとみている。そうすると稼働できなかったスタッフも現場に復帰し売上にはつながっていくとみている。
	○	求人情報誌製作会社（営業）	・まん延防止等重点措置が2月中旬まで延長となるので、来月まで求人数は停滞するかとみているが、予定どおり2月中旬で解除になると2か月後の3～4月は求人数が増加すると予測している。
	○	職業安定所（職員）	・職種にもよるが、新型コロナウイルスに対応した状態で採用活動を再開する事業所と、また観光などで国のクーポンなどの後押しにより生まれる一時的な求人数の増加がある。引き続き好調な建設業、不動産業などでも、求人数が増加するとみている。
	○	学校〔大学〕（就職支援担当）	・新年度で雇用関係の動きとしてマッチングが進み、雇用面ではやや改善されるとみている。
	○	学校〔専門学校〕（就職担当）	・新年度を迎え新たな採用計画の下で、募集活動を行う企業が増えてくる。
	<input type="checkbox"/>	人材派遣会社（総務担当）	・新型コロナウイルスオミクロン株の新規感染者数が減少しない限り景気は変わらない。
	<input type="checkbox"/>	求人情報誌製作会社（営業担当）	・求人数が減少している。
	▲	—	—
	×	—	—